

2019年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

道府県・政令市名

【 和歌山県 】

学校名【 和歌山市立雑賀崎小学校 】

1 実践テーマ	I・V
2 実施対象者 (学年・人数)	児童：26名 引率：3名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名 () ② 行事名 (セーリング体験) ③ その他 () (2) 地域における活動 ① イベント名 () ② その他 ()
4 目標 (ねらい)	・オリンピック・パラリンピック教育を実施することにより、オリンピック・パラリンピック・ムーブメントの普及・推進を図るとともに、スポーツ機運の醸成を図り、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育てる。 ・国からナショナルトレーニングセンターとして指定されている和歌山セーリングセンターの充実した施設・設備を活用し、オリンピック種目であるセーリング競技の魅力に触れる。
5 取組内容	日時：令和元年6月28日(金) 場所：和歌山セーリングセンター 内容 ・セーリング競技のナショナルトレーニングセンター競技別強化拠点である和歌山セーリングセンターの説明を受けた。 ・セーリング競技の紹介ビデオを鑑賞し、施設内に掲示しているオリンピックセーリング競技大会で撮影された写真を紹介してもらった。 ・施設の湾内でヨットに乗り、セーリングを体験した。「アクセスディンギー」という初心者でも安全に操船できるヨットを用いての体験であった。何人かは、沖まで行ってしまったが、無事、楽しい体験となった。 ・オリンピックエンブレムが掲げられている艇庫などがあり、ナショナルトレーニングセンターであることが良く分かった。

	
<p>6 主な成果</p>	<ul style="list-style-type: none"> • オリンピック種目の一つ、セーリングという競技を知ることができ、それに関連するナショナルトレーニングセンター競技別強化拠点という施設がこのような身近なところにあることを知ることができた。 • 普段は体験できないセーリングというスポーツに触れることができ、貴重な体験をすることができた。 <p>【児童の感想文から】</p> <ul style="list-style-type: none"> • ヨット教室でヨットを体験させてくれたり、色々なことを教えてくださいまして、ありがとうございました。最後はこわかったけどいい経験ができました。ヨットの体験をさせていただいて、ありがとうございました。
<p>7実践において工夫した点 (事業の特色)</p>	<ul style="list-style-type: none"> • ナショナルトレーニングセンター競技別強化拠点でのセーリング体験ということで、この施設でしか体験できない内容であった。 • 普段では体験できない、触れることもできないヨットに乗り、セーリングを実際に体験できたこと。

8 主な課題等	・今回の貴重な体験を生かし、体験だけに終わることなく、今後ともオリンピック・パラリンピックに理解と関心が持てるような取り組みを実施していきたい。
9 来年度以降の 実施予定	・実施していきたい。